

～闘魂記～

「闘魂」・・・魂をもって闘おうとする気持ち

西東京市立ひばりが丘中学校第3学年

第50号 2025年 3月19日(水)

学年目標「自主・自立」

「卒業」

本日をもって中学校生活の全課程が修了しました。至らない点も多々あったとは思いますが、保護者の皆さまにおかれましては、日頃より教育活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

素直で明るく元気な生徒たちと過ごした日々は私たち教員にとっても、かけがえのない3年間となりました。「どんな生徒も見捨てない、生徒に寄り添った教育を！」を合言葉に学年一同、駆け抜けてきました。

最後になりますが、今後のお子様の輝かしい未来を祈念し、50号をもって闘魂記を終了いたします。3年間ありがとうございました。

<第3学年の先生方の最後のメッセージ>

太田先生	「置かれた場所で咲きなさい」 望んだ環境でも、望んでいない環境でも、皆さんそれぞれの居場所で根を張り、花を咲かせる努力をしてほしいと思います。その結果花が咲かなくても、次の肥料となり、より大きな花が咲きます。皆さんの活躍を願っています。
長尾先生	「だらしない」とは、「整っていない。節度がない。根性がない。」という意味だそうです。これから先、自分のそんな部分を指摘してくれる人との出会いは、そう多くはありません。自分でけじめをもって根気強く、自立していく。そんな大人になってください。
佐藤先生	次の空欄に当てはまる言葉を書きなさい。これが最後の問いです。 「君の/君たちのいないこれからの日々を、僕は/私はきっと〇〇〇」 制限時間・解答用紙・採点基準は、あなたのこれからの人生 途中経過は、また逢う日まで！ Believe in yourself & Do your best！
加藤先生	「がんばるときはいつも今！」いつも笑顔で！「今」をがんばれ！！応援しています！！
石崎先生	夢の実現のため、「今日、何をするか」を常に意識して努力を続けていって下さい。その努力を楽しめるようになるとよいですね。新しい道に進むみなさんを応援しています。頑張れ！
村上先生	「雨垂れ石を穿つ」 “どんな小さな力でも、根気強く続ければ、やがて成功する”という意味です。 小さなことの積み重ねが、後の成功へと繋がる一番の近道！これからも挑戦を続けていこう！卒業おめでとう！
伊藤先生	いつも！心に！！闘魂を！！！！

「闘魂学年の生徒たちへ」

「闘魂」とは、何事にも魂をもって取り組み、困難があっても闘い、乗り越えていこうとする気持ち（心）のことをいいます。そんな心をもてる人はきっと他の人にも優しくできる人になるでしょう。「人に優しく、自分の壁は自分で乗り越えていける」そんなたくましい人になってください。君たちの未来に幸あれ！！！！！！！！

闘魂